

MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

JAPANESE

1 / 1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-181977

(43)Date of publication of application : 30.06.2000

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

G06F 3/00

G06F 13/00

G06F 17/60

G06F 17/30

H04L 12/54

H04L 12/58

(21)Application number : 10-355165

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND
CO LTD

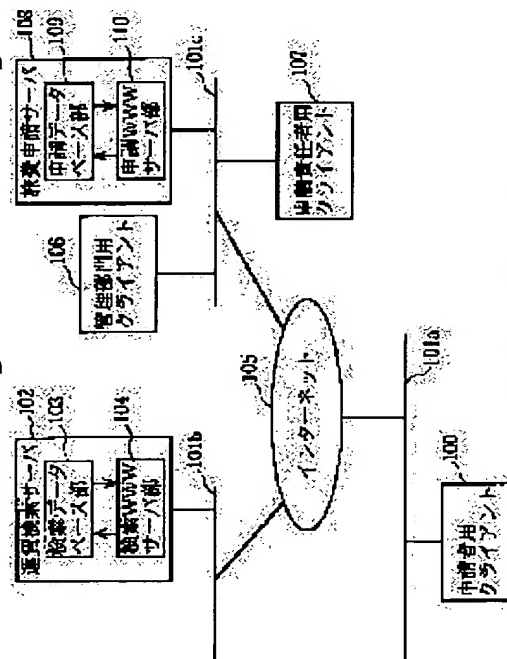
(22)Date of filing : 14.12.1998

(72)Inventor : MINAMI YORIO
SAKURAI SATOSHI
AEBA MASAKI(54) APPLICATION DOCUMENT PREPARATION METHOD AND DEVICE, PROGRAM
STORAGE MEDIUM AND COMPUTER SYSTEM FOR APPLICATION DOCUMENT
PREPARATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a device, a method and a program storage medium for preparing application document data while utilizing a retrieved result extracted from a data base without troublesome operations and transcription errors.

SOLUTION: A travel expense application server 108 stores a first HTML document and a fare retrieval server 102 stores a second HTML document. A client 100 for an applicant executes a browser software for accessing an application receiving server and a retrieval server and receiving and displaying the first and second HTML documents. The second HTML document displays a second window provided with a column for inputting a retrieval key and the column for displaying the retrieved result. The first HTML document displays a first window provided with the format of an application document including the input columns of an applicant name, application contents and prescribed items, obtains at least part of the retrieved result displayed in the retrieved result display column of the second window and pastes the retrieved result to the input column of the prescribed items in the first window.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-181977

(P2000-181977A)

(43) 公開日 平成12年6月30日 (2000.6.30)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/22	A 5 B 0 4 9
3/00	6 5 1	3/00	6 5 1 B 5 B 0 7 5
	6 5 5		6 5 5 A 5 B 0 8 9
13/00	3 5 4	13/00	3 5 4 D 5 E 5 0 1
17/60		15/21	Z 5 K 0 3 0
審査請求 有 請求項の数10 O L (全 16 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願平10-355165

(22) 出願日 平成10年12月14日 (1998. 12. 14)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 南 順夫

大阪府門真市大字門真1006番地 株式会社

松下ソフトリサーチ内

(72) 発明者 櫻井 智

大阪府門真市大字門真1006番地 株式会社

松下ソフトリサーチ内

(74) 代理人 100090446

弁理士 中島 司朗 (外1名)

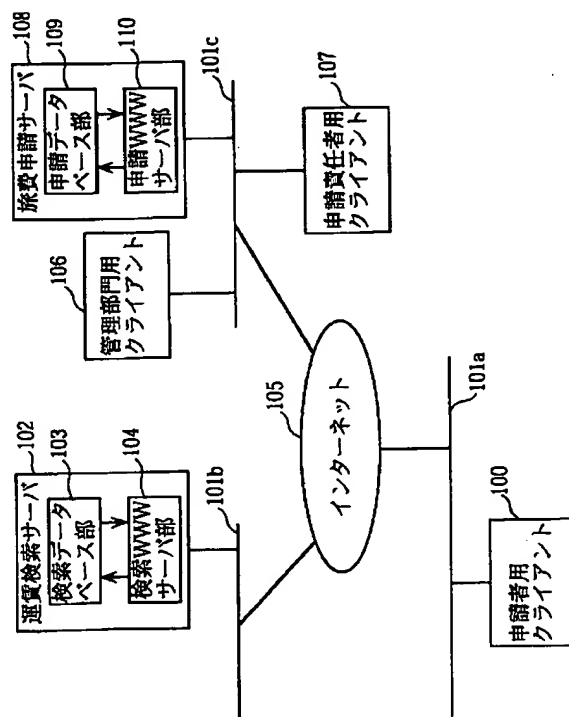
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 申請書類作成方法及び装置、プログラム記憶媒体、申請文書作成コンピュータシステム

(57) 【要約】

【課題】本発明は、煩雑な操作と転記ミスなしに、データベースから抽出された検索結果を利用しつつ申請書類データを作成する装置、方法、プログラム記憶媒体を提供する。

【解決手段】旅費申請サーバ108は第1のHTML文書を、運賃検索サーバ102は第2のHTML文書を記憶する。申請者用クライアント100は申請受けサーバサーバ及びに検索サーバアクセスして第1及び第2のHTML文書を受信及び表示するためのブラウザソフトウェアを実行する。第2のHTML文書は検索キーを入力するための欄と検索結果を表示するための欄を含む第2ウィンドウを表示させる。第1のHTML文書は、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を含む第1ウィンドウを表示させ、第2ウィンドウの検索結果表示欄に表示された検索結果の少なくとも一部を取得しその検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介して検索サーバ及び申請受け付けサーバに接続されたコンピュータにおいて申請受け付けサーバに送信すべき申請書類データを作成する方法であって、

申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、

第1のユーザ操作がなされたとき、検索キーの入力欄と検索結果用の欄とを含む第2ウィンドウをディスプレイに表示させる第2表示ステップと、

第2ウィンドウにおける検索キーの入力欄に検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、当該検索キーに対する検索結果を検索サーバから受信する検索ステップと、

受信された検索結果を第2ウィンドウにおける検索結果用の欄に表示させる第3表示ステップと、

第2のユーザ操作に従って、検索結果用の欄に表示された検索結果の少なくとも一部を読み出す読み出しステップと、

読み出しステップにおいて読み出した検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に書き込む書き込みステップと、

を有することを特徴とする申請書類作成方法。

【請求項2】 前記コンピュータは、前記検索サーバと前記申請受け付けサーバのそれぞれに、イントラネット及びインターネットの少なくとも一方を介して接続され、前記申請書類作成方法は、さらに、

第1ウィンドウの内容をHTML言語で記述した第1HTML文書を前記申請受け付けサーバから受信する受信ステップを有し、

前記第1表示ステップは、受信ステップにおいて受信された第1HTML文書に従って第1ウィンドウを前記ディスプレイに表示させ、

前記第2表示ステップは、

前記第1のユーザ操作がなされたとき、第2ウィンドウの表示内容をHTML言語で記述した第2HTML文書を前記検索サーバから受信する受信サブステップと、

受信された第2HTML文書に従って第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる表示サブステップとからなることを特徴とする請求項2記載の申請書類作成方法。

【請求項3】 前記第2HTML文書は、第2ウィンドウに表示された検索結果のうちユーザ操作により選択された部分を特定しコンピュータのメモリに書き込む処理と、第1ウィンドウの前記所定項目の入力欄に、コンピュータのメモリから前記選択された部分を読み出して書き込む処理とを記述したスクリプトプログラムを含み、前記取得ステップ及び前記貼り付けステップは、第2のユーザ操作がなされたとき、コンピュータにスクリプト

プログラムを実行させることにより、第2ウィンドウに表示された検索結果のうちユーザ操作により選択された部分を第1ウィンドウの前記所定項目の入力欄に貼り付けることを特徴とする請求項2記載の申請書類作成方法。

【請求項4】 前記検索サーバは、交通機関の乗車地及び降車地を検索キーとして、その乗車地と降車地との間の運賃を検索するサーバであり、

前記所定項目は交通機関の費用の項目であり、

前記検索ステップは、乗車地及び降車地からなる検索キーを検索サーバに送信することを特徴とする請求項1、2、又は3記載の申請書類作成方法。

【請求項5】 イントラネット及びインターネットの少なくとも一方を介して検索サーバ及び申請受け付けサーバに接続されたコンピュータにおいて申請受け付けサーバに送信すべき申請書類データを作成する方法であって、コンピュータのメモリにロードされたブラウザソフトウェアを起動するステップと、

コンピュータが起動されたブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により申請受け付けサーバのアドレスが指定されたとき、申請受け付けサーバにアクセスして第1HTML文書を申請受け付けサーバから受信しメモリに格納する第1受信ステップと、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第1HTML文書に従って、

申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により検索サーバのアドレスが指定されたとき、検索サーバにアクセスして第2HTML文書を検索サーバから受信しメモリに格納する第2受信ステップと、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第2HTML文書に従って、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示ステップと、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索ステップと、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示ステップと、

特定のユーザ操作がなされたとき、コンピュータに第1HTML文書に埋めこまれていたスクリプトプログラムを起動させるステップと、

コンピュータがスクリプトプログラムを実行することにより、第2ウィンドウに表示された検索結果の少なくとも一部を取得して、取得した検索結果を第1ウィンドウ

における前記所定項目の入力欄に貼り付ける転記ステップとを有することを特徴とする申請書類作成方法。

【請求項6】 ネットワークを介して申請受けサーバに接続されたコンピュータにおいて申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成する方法であって、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、

第1のユーザ操作がなされたとき、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示ステップと、

第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、メモリに記憶されている検索ソフトウェアをコンピュータが実行することにより、当該検索キーについての検索を行う検索ステップと、

検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示ステップと、

第2のユーザ操作に従って、表示された検索結果の少なくとも一部を取得する取得ステップと、

取得ステップにおいて取得された検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける貼り付けステップと、

を有することを特徴とする申請書類作成方法。

【請求項7】 ネットワークを介して検索サーバ及び申請受けサーバに接続され、申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成する申請文書作成装置であって、

申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをディスプレイに表示させる第1表示制御手段と、

第1のユーザ操作がなされたとき、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示制御手段と、

第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索手段と、

受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示手段と、

第2のユーザ操作に従って、表示された検索結果の少なくとも一部を取得する取得手段と、

取得手段において取得された検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける貼り付け手段と、

を有することを特徴とする申請書類作成装置。

【請求項8】 イン트라ネット及びインターネットの少なくとも一方を介して検索サーバ及び申請受けサーバに接続され、申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成するコンピュータであって、

ブラウザソフトウェアを格納するメモリと、

コンピュータのメモリに格納されたブラウザソフトウェ

アを起動する手段と、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により申請受けサーバのアドレスが指定されたとき、申請受けサーバにアクセスして第1HTML文書を検索受けサーバから受信しメモリに格納する第1受信手段と、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第1HTML文書に従って、申請者、申請内容及び所定項目の入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示制御手段と、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により検索サーバのアドレスが指定されたとき、検索サーバにアクセスして第2HTML文書を検索サーバから受信しメモリに格納する第2受信手段と、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第2HTML文書に従って、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示制御手段と、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索手段と、

コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示制御手段と、

特定のユーザ操作がなされたとき、コンピュータが第1HTML文書に埋めこまれていたスクリプトプログラムを実行することにより、第2ウィンドウに表示された検索結果の少なくとも一部を取得して、取得した検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける転記手段とを有することを特徴とする申請書類作成コンピュータ。

【請求項9】 ネットワークを介して検索サーバ及び申請受けサーバに接続されたコンピュータに、申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成させるプログラムを記憶する記憶媒体であって、

申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、

第1のユーザ操作がなされたとき、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示ステップと、

第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索ステップと、

受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示ステップと、

第2のユーザ操作に従って、表示された検索結果の少な

くとも一部を取得する取得ステップと、取得ステップにおいて取得された検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける貼り付けステップと、をコンピュータに実行させるプログラムを記憶するコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項10】 第1のHTML文書を記憶し、申請書類データを受け付ける申請受けサーバと、第2のHTML文書を記憶し、検索キーに応じた検索結果を出力する検索サーバと、申請受けサーバサーバ及びに検索サーバアクセスして第1及び第2のHTML文書を受信及び表示するためのブラウザソフトウェアを記憶するコンピュータとを備え、

第2のHTML文書は、ブラウザソフトウェアを実行するコンピュータに、検索キーを入力するための欄と検索結果を表示するための欄とを含む第2ウィンドウを表示させる処理を記述したHTML言語プログラムを含み、第1のHTML文書は、ブラウザソフトウェアを記憶するコンピュータに、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を含む第1ウィンドウを表示させる処理を記述したHTML言語プログラムと、特定のユーザ操作がなされたとき第2ウィンドウの検索結果表示欄に表示された検索結果の少なくとも一部を取得しその検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける処理を記述したスクリプトプログラムを含むことを特徴とする申請文書作成コンピュータシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワークを介して申請受けサーバに接続され、申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成する装置及び方法、申請書類データを作成するためのプログラムを記憶する記憶媒体、申請書類作成コンピュータシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、企業内等においてコンピュータを用いて種々の申請書類を作成し、ネットワークを介して申請受けサーバに対して申請書類データを送信するシステムが開発されている。申請書類を作成するコンピュータ（申請書類作成装置）では、一のデータベースから抽出したデータを操作者が参照して、申請を受け付けるサーバに送信する場合がある。

【0003】たとえば、特開平9-26999に開示されているような出張旅費の申請処理を行う出張管理装置では、出張者たる操作者がオンライン端末（申請書類作成装置）において出張旅費を入力し、管理者が管理者用の端末で内容確認と承認を行ってから、旅費管理端末に登録し、精算処理を行うものである。その際、出張者は、オンライン端末において交通機関の出発点と到着点を指定

して運賃データベースより運賃を自動的に検索する運賃検索ソフトウェア（かかるソフトウェアは、特開平10-78981等に開示されている。）を別途起動して運賃を検索して、検索結果を参照して当該運賃を前記出張旅費として入力し、旅費データベースに登録する。

【0004】この場合、操作者は運賃の検索結果を目視により確認して、キーボードから入力するか、あるいはマウスなどのポインティングデバイス进行操作していわゆるカットアンドペーストによりデータの転記を行う方法が用いられていた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、出張管理装置によれば、運賃データベースの検索結果を利用するための操作が煩雑であるという問題があった。すなわち、操作者が検索結果を目視で確認して、キーボード入力することは、操作が煩雑なうえ入力ミスが発生する可能性もある。また、カットアンドペーストによる方法でも、転記すべきデータが表示された領域の始点と終点を指定する操作と転記先の領域を指定する操作が必要であり、やはり操作が煩雑であるという問題がある。

【0006】上記課題に鑑み本発明は、煩雑な操作と転記ミスなしに、データベースから抽出された検索結果を利用しつつ申請書類データを作成できる申請書類作成方法、その装置、そのプログラムを記憶する記憶媒体を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため本発明は、イントラネット及びインターネットの少なくとも一方を介して検索サーバ及び申請受けサーバに接続されたコンピュータにおいて申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成する方法であって、コンピュータのメモリにロードされたブラウザソフトウェアを起動するステップと、コンピュータが起動されたブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により申請受けサーバのアドレスが指定されたとき、申請受けサーバにアクセスして第1HTML文書を申請受けサーバから受信しメモリに格納する第1受信ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第1HTML文書に従って、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により検索サーバのアドレスが指定されたとき、検索サーバにアクセスして第2HTML文書を検索サーバから受信しメモリに格納する第2受信ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第2HTML文書に従って、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示ステップと、コンピュ

ータがブラウザソフトウェアを実行することにより、第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示ステップと、特定のユーザ操作がなされたとき、コンピュータに第1HTML文書に埋めこまれていたスクリプトプログラムを起動させるステップと、コンピュータがスクリプトプログラムを実行することにより、第2ウィンドウに表示された検索結果の少なくとも一部を取得して、取得した検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける転記ステップとを有している。

【0008】

【発明の実施の形態】<第1実施形態>本実施形態では、申請書類作成装置（以下、申請者用クライアントと呼ぶ）が作成する申請書類として具体的には出張旅費申請用の書類データを作成するものとして説明する。

<システムの全体構成>図1は、本発明の第1実施形態における出張旅費申請システムの構成を示すブロック図である。

【0009】同図の出張旅費申請システムは、申請者用クライアント100、運賃検索サーバ102、管理部門用クライアント106、申請責任者用クライアント107、旅費申請サーバ108を備える。これらの装置は、LAN（Local Area Network）101a～101cとインターネット105とを介して接続されている。申請者用クライアント100は、申請者の操作に従って出張旅費申請用の書類データを作成し、その書類データを旅費申請サーバ108に送信する。同図では申請者用クライアントを1台しか図示していないが、実際には複数台存在する。

【0010】申請者用クライアント100において表示される出張旅費申請用の書類データ作成ウィンドウの一例を図9に示す。同図のように、申請書類データ作成ウィンドウ30は、出張実績データ入力部300と、旅費申請データ入力部301と、運賃検索起動ボタン302と、送信ボタン303とを含む。ここで、出張実績データ入力部300は、行先、目的、出発日および帰着日の各入力欄からなる。旅費申請データ入力部301は、利用年月日、交通機関、乗車地、降車地および運賃の各入力欄からなる。運賃検索起動ボタン302は、運賃検索用のソフトウェアを起動するためのボタンである。送信ボタン303は、作成した書類データを旅費申請サーバ108に送信するためのボタンである。

【0011】運賃検索ボタン302に対するユーザ操作が受け付けられたときに、申請者用クライアント100において表示される運賃検索ウィンドウの一例を図11に示す。同図のように、運賃検索ウィンドウ31は、申請書類データ作成ウィンドウ30とは独立のウィンドウと

して表示され、乗車地及び降車地の各入力欄304、305と、検索ボタン306を含む。

【0012】申請者用クライアント100は、上記の申請書類データ作成ウィンドウ30、運賃検索ウィンドウ31を、旅費申請サーバ108、運賃検索サーバ102からそれぞれ受信したHTML文書を、いわゆるWWWブラウザソフトウェアを実行することにより表示及び作成処理を行なう。このとき、申請書類データ作成ウィンドウ30内の旅費申請データの作成に際して、申請者用クライアント100は、旅費申請データ入力部301内の各入力欄に対しては、申請者からの直接入力が必要としないで、運賃検索ウィンドウ31における検索結果を転記することにより、当該各入力欄のデータを作成するよう構成されている。

【0013】LAN101a～101cは、例えば企業内の事業部毎あるいは棟毎に設けられた、いわゆるイントラネットである。運賃検索サーバ102は、検索データベース部（以下、検索DB部と呼ぶ）103と検索WWWサーバ部104とを有し、運賃検索ウィンドウ31に対応する運賃検索用のHTML文書を申請者用クライアント100に要求に応じて送信し、さらに申請者用クライアント100から乗車地と降車地とを検索キーとして検索を指示されると、検索キーに該当する交通機関と運賃とを検索し、検索結果を申請者用クライアント100に送信する。

【0014】管理部門用クライアント106は、申請者用クライアント100から旅費申請サーバ108に送信された出張旅費データを、管理部門において確認するための端末である。確認後、申請者に出張旅費の振り込み等が成されることになる。申請責任者用クライアント107は、申請者用クライアント100から旅費申請サーバ108に送信された出張旅費データを、申請責任者が承認を行うための端末である。

【0015】旅費申請サーバ108は、データベース部（以下検索DB部と呼ぶ）109と申請WWWサーバ部110とを有し、申請書類データ作成ウィンドウ30に対応する申請書類作成用のHTML文書を申請者用クライアント100に要求に応じて送信し、さらに作成された申請書類データを検索DB部109に登録する。

<運賃検索サーバ102の構成>図2は、運賃検索サーバ102の構成を示すブロック図である。同図では、運賃検索サーバ102の構成要素として、図1に示した検索DB部103および検索WWWサーバ部104に加えてハードディスク102aの記憶内容を図式的に示してある。

【0016】同図において、ハードディスク102aは、路線データおよび運賃データと、運賃検索用HTML文書とを記憶する。路線データおよび運賃データは、検索DB部103により検索対象となるデータである。運賃検索用HTML文書は、検索WWWサーバ部104

により申請者用クライアント100に提供され、図11に示した運賃検索ウィンドウ31を表示させるようにHTML言語で記述されている。

【0017】検索WWWサーバ部104は、申請者用クライアント100からの要求に応じてハードディスク102a内の運賃検索用HTML文書を送信し、さらに申請者用クライアント100から送信される検索キーを受信すると、検索DB部103に当該検索キーに該当するデータの検索を指示する。このとき、検索WWWサーバ部104は、申請者用クライアント100から検索キー及び検索の要求をHTML文として受信し、SQL(Structured Query Language)文に変換してから検索DB部103に通知する。このようなWWWサーバとデータベースの連携については、たとえば山田一就著『イントラネット完全構築ガイド2』日経BP社などに詳述されている。

【0018】検索DB部103は、検索WWWサーバ部104からSQL文で記述された検索キーとともに検索の指示を受けると、当該検索キーに該当するデータを検索して、検索結果を検索WWWサーバ部104に返す。＜旅費申請サーバ108の構成＞図3は、旅費申請サーバ108の構成を示すブロック図である。同図では、旅費申請サーバ108の構成要素として、図1に示した検索DB部109、申請WWWサーバ部110に加えてハードディスク108aの記憶内容を図式的に示してある。図3は、図2と同等の構成であるので、異なる点のみ説明する。異なる点は、ハードディスク108aの記憶内容である。

【0019】ハードディスク108aは、申請書類作成用HTML文書と、申請書類データ群を記憶する。申請書類作成HTML文書は、旅費申請サーバ108により申請者用クライアント100に提供され、図9に示した申請書類データ作成ウィンドウ30を表示させるようにHTML言語で記述されている。申請書類データ群は、申請者用クライアント100から送信された申請書類データを蓄積したものである。

【0020】検索WWWサーバ部104は、申請者用クライアント100からの要求に応じてハードディスク102a内の申請書類作成用HTML文書を送信し、管理部門用クライアント106、申請責任者用クライアント107それぞれからの要求に応じてハードディスク108aに記憶された申請書類データを検索DB部109を介して読み出して要求元に送信する。

＜申請者用クライアント100の構成＞図4は、申請者用クライアント100の詳細な構成を示すブロック図である。同図では、メモリに記憶されたソフトウェア構成の概要を併せて示してある。

【0021】申請者用クライアント100は、ネットワークI/F1001、CPU1002、HDD1003、表示制御部1004、表示装置1005、メモリ

1006、操作制御部1007、キーボード1008、マウス1009を備えて構成される。ネットワークI/F1001は、LANに接続するインターフェースである。

【0022】CPU1002は、HDD1003からメモリ1006にロードされたOS(Operating System)の制御の下で種々のソフトウェアを実行する。表示制御部1004、フレーム画像を保持するVRAM1004aを内部に有し、フレーム画像を表示装置1005に表示する制御を行なう。表示装置1005は、CRTやLCDなどのディスプレイ装置である。

【0023】メモリ1006は、OS、ブラウザソフトウェア、通信モジュール等を記憶する。ブラウザソフトウェアは、ネットワーク上のWWWサーバにアクセスし、当該WWWサーバからHTML文書を取得して表示装置1005に表示する。HTML文書は、HTML言語では、(a)他のサーバまたは同じサーバの他のHTML文書を示すリンクを記述すること、(b)リンク先のHTML文書をネットワークを介して取得すること、

(c)ユーザ操作による文字入力用の欄を記述すること、(d)文字入力用の欄に入力された文字をサーバに送信するよう記述すること、(e)他のスクリプトプログラムを内在させて当該スクリプトを実行するソフトウェアを起動することなどができる。そのため、ブラウザソフトウェアは、上記(a)を行なうためのHTML解釈モジュール、上記(e)を行なうためのスクリプト実行モジュール、上記(b)(d)を行なうための通信I/Fモジュールを含む。

【0024】本実施例では、ブラウザソフトウェアは、旅費申請サーバ108から得られる申請書類作成HTML文書と、運賃検索サーバ102から得られる運賃検索用HTML文書とを処理対象とする。また、通信モジュールは、ブラウザソフトウェアからの送受信データをネットワークプロトコルに従ってネットワークI/F1001を介して送受信するプログラムである。

【0025】操作制御部1007は、キーボード1008やマウス1009におけるユーザ操作を受付ける制御を行なう。

＜申請書類作成処理＞次に、申請者用クライアント100における申請書類作成処理について説明する。

【0026】申請者用クライアント100は、立ち上げ時又はユーザ操作に従ってブラウザソフトウェアを起動し、旅費申請サーバ108のネットワークアドレス宛に申請書類作成用HTML文書を要求し、旅費申請サーバ108から申請書類作成用HTML文書を受信する。ここでのネットワークアドレスは、URL(Uniform Resource locator)やIP(Internet Protocol)アドレスなどである。

【0027】受信された申請書類作成用HTML文書は、ブラウザソフトウェアをCPU1002が実行する

ことにより、当該HTML文書が表示される。既に説明した図9は、このときの表示装置1005に表示される申請書類データ作成ウィンドウ30の様子を示している。以下、この申請書類データ作成ウィンドウ30に対するユーザ操作の順に従って申請書類作成処理を説明する。

【0028】図5及び図6は、申請者用クライアント100における申請書類作成処理を示すフローチャートである。この処理は、図4に示したブラウザソフトウェアを実行するCPU1002が、申請書類作成HTML文書と運賃検索用HTML文書とを処理することにより実現される。図5において、申請者用クライアント100は、申請書類データ作成ウィンドウ30における出張実績データ入力部300内の行先、目的、出発地、帰着日の各入力欄と、旅費申請データ入力部301内の利用年月日の入力欄に対する入力操作を受付ける（ステップ101）。図10に、行先、目的、出発地、帰着日、利用年月日の各欄への入力となされたときの申請書類データ作成ウィンドウ30の表示状態を示す。

【0029】この状態で運賃検索起動ボタン302がマウスによりクリックされた場合（ステップ102）、申請者用クライアント100は、運賃検索サーバ102に運賃検索用HTML文書を要求して当該HTML文書を受信し（ステップ103）、当該HTML文書に従って運賃検索ウィンドウ31を表示する。既に説明した図11は、この時点における申請書類データ作成ウィンドウ30と、新たに表示された運賃検索ウィンドウ31とを示す。

【0030】さらに、申請者用クライアント100は、運賃検索ウィンドウ31における乗車地、降車地の入力操作を受付ける（ステップ104）。図12に、乗車地入力欄304に「大阪」、降車地入力欄305に「京都」が入力された場合の表示例を示す図である。次いで、申請者用クライアント100は、検索ボタン306がクリックされたとき（ステップ105）、運賃検索サーバ102に乗車地入力欄304及び降車地入力欄305に入力された「大阪」及び「京都」を検索キーとして運賃を検索するように運賃検索サーバ102に検索指示を送信する（ステップ106）。

【0031】この検索指示を受けて運賃検索サーバ102では、旅費申請サーバ108から送信された検索指示を受け、指示された検索キーに該当する交通機関の路線とその運賃とを検索し、検索結果を旅費申請サーバ108に送信する。申請者用クライアント100は、この検索結果を受信すると、運賃検索ウィンドウ31内に、検索結果を表示する。図13に、検索結果が表示された運賃検索ウィンドウ31の表示例を示す。同図では、乗車地「大阪」及び降車地「京都」という検索キーに該当する検索結果として、経路307aと経路307bの2つを表示している。経路307aは、1本の経路（交通

機関名、乗車駅、降車駅、運賃）を示している。経路307bは、2本の部分経路からなる経路を示している。また、各経路307a、307bそれぞれの左横には対応する選択ボタン308a、308bが表示される。

【0032】さらに、申請者用クライアント100は、運賃検索ウィンドウ31に表示された経路の1つを選択するユーザの操作を受付ける（ステップ107）。図13では、選択ボタン308aがクリックされたことにより選択されている。この後、図6のフローチャートに示すように、申請者用クライアント100は、申請書類データ作成ウィンドウ30内の転記ボタン309に対するクリック操作を受付けると（ステップ108）、運賃検索ウィンドウ31において選択された経路の内容を、一旦メモリ中の所定領域に取得（コピー）して、さらに申請書類データ作成ウィンドウ30内の交通機関、乗車駅、降車駅、運賃の各欄に転記する（ステップ109）。この転記は、申請書類作成用HTML文書内の転記スクリプトを実行することによりなされる。図14に、転記後の申請書類データ作成ウィンドウ30及び運賃検索ウィンドウ31の表示例を示す。

【0033】さらに、申請者用クライアント100は、申請書類データ作成ウィンドウ30内の送信ボタン303がクリックされたとき（ステップ110）、申請書類データ作成ウィンドウ30内の各欄に入力された内容を申請書類データとして、旅費申請サーバ108に送信する（ステップ111）。送信された申請書類データは、図3に示した旅費申請サーバ108内の申請WWWサーバ部110によってHTML文として受信されてSQL文に変換されたのち、検索DB部109によってSQL文の申請書類データに従ってハードディスク108aに格納される。

<転記処理>図7は、図6のステップ109に示した転記処理の詳細を示すフローチャートである。

【0034】同図のように、転記ボタン309がクリックされたとき、申請者用クライアント100において、図4に示したブラウザソフトウェアを実行することによりCPU1002は、申請書類作成用HTML文書において転記ボタン309に関連付けられた転記スクリプトを実行するようスクリプト実行モジュールを起動する。転記スクリプトは、例えば米国ネットスケープ社のJavaScript言語などでよい。スクリプト実行モジュールを実行することによりCPU1002は、転記スクリプトを順次解釈及び実行していく。

【0035】転記スクリプトを実行することによりCPU1002は、まず、運賃検索ウィンドウ31内に表示されている検索結果のうち、ユーザ操作により選択された経路情報を取得する（ステップ201）。具体的には、経路情報は、転記スクリプト中の1つの関数の戻り値として得ることができ、メモリ中の所定領域に格納される。

【0036】図8に取得された経路情報の説明図を示す。同図では、経路情報は年月日と部分経路1、部分経路2からなる。各部分経路は、交通機関、乗車駅、降車駅、運賃からなる。経路情報に含まれる部分経路の数は、選択された経路に含まれる部分経路と同数である。図8の経路情報は、図14中の経路307bのように2本の部分経路がある場合を示している。図14中の経路307aのように1本の（部分）経路だけの場合には、経路情報は年月日と1つの部分経路とからなる。

【0037】次に、転記スクリプトを実行することによりCPU1002は、メモリ1006にメモリ中の所定領域に格納された経路情報から、部分経路毎に交通機関、乗車駅、降車駅、運賃を判別し（ステップ202、203）、判別結果を申請書類データ作成ウィンドウ30内の交通機関、乗車地、降車地、運賃の欄に入力する（ステップ204）。

【0038】このように、転記ボタン309のクリックにより、転記スクリプトが実行されることにより、運賃検索ウィンドウ31の検索結果のうち選択された経路についての交通機関、乗車駅、降車駅、運賃の部分が、申請書類データ作成ウィンドウ30内の対応する欄に転記される。その結果ユーザは、検索結果をキーボードから手入力したり、又はマウス操作によるコピー＆ペーストをするという煩わしい操作から解放され、しかも誤入力による転記ミスからも解放される。

<第2実施形態>本実施形態における出張旅費申請システムは、図1に示したブロック図とほぼ同様である。ただし、申請者用クライアント100の代わりに申請者用クライアント200を備える点と、運賃検索サーバ102を必須としない点とが異なっている。以下同じ点は説明を省略して異なる点を中心に説明する。

【0039】図15は、申請者用クライアント200の詳細な構成を示すブロック図である。同図は、図4と比較してハードウェア構成は同じであるがソフトウェア構成が一部異なっている。すなわち、メモリ1006において運賃検索ソフトウェアが追加されている点と、申請書類データ作成ウィンドウ30内の運賃検索起動ボタン302がクリックされたとき、運賃検索ソフトウェアが起動される点とが異なる。

【0040】また、運賃検索ウィンドウ31は、運賃検索ソフトウェアの起動により表示される。第1実施形態において運賃検索サーバ102に検索指示を送信して検索させていた代わりに、本実施形態では運賃検索ソフトウェアに検索指示を出し検索させることになる。したがって、本実施形態によっても、第1実施形態と同様に効果が得られる。

【0041】なお、図9等に示した各入力欄は、実線枠の囲み線を有しているが、囲み線がなくてもよく、単に入力を促す程度の表示態様であればよい。さらに、上記実施形態では、転記の対象として出張の往路の運賃等を

例示しているが、復路の運賃等の転記を行なうこともできる。この場合、図5、6に示したステップ104～109を復路についても行なうことにより実現できる。あるいは、往路の乗車駅と降車駅を入れ替えて復路として交通機関、乗車駅、降車駅、運賃として転記するステップをステップ109の次に追加してもよい。

【0042】また、上記実施形態では、出張旅費を検索することを前提に説明したが、出張旅費に限らず、物品の購入代金、ホテル／旅館の宿泊料金、株価、為替レート等でもよい。また、上記実施形態におけるスクリプト言語は、JavaScript言語に限らず、米国マイクロソフト社のVB（Visual Basic）やその他の仮想マシン言語や他のプログラム言語であってもよい。

【0043】さらに、上記実施形態では、申請書類データ作成ウィンドウ30と運賃検索ウィンドウ31とを別ウィンドウとしたが、1つのウィンドウ内の別フレームとしてもよい。また、上記実施形態では、旅費申請サーバ108が申請書類作成用HTML文書を、運賃検索サーバ102が運賃検索用HTML文書を申請者用クライアント100に提供する構成としているが、申請書類作成用HTML文書、運賃検索用HTML文書はそれぞれ他のWWWサーバから申請者用クライアント100に提供する構成としてもよい。また、申請者用クライアント100が申請書類作成用HTML文書と運賃検索用HTML文書との少なくとも一方を記憶する構成としてもよい。

【0044】

【発明の効果】本発明の申請書類作成方法は、ネットワークを介して検索サーバ及び申請受けサーバに接続されたコンピュータにおいて申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成する方法であって、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、第1のユーザ操作がなされたとき、検索キーの入力欄と検索結果用の欄とを含む第2ウィンドウをディスプレイに表示させる第2表示ステップと、第2ウィンドウにおける検索キーの入力欄に検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、当該検索キーに対する検索結果を検索サーバから受信する検索ステップと、受信された検索結果を第2ウィンドウにおける検索結果用の欄に表示させる第3表示ステップと、第2のユーザ操作に従って、検索結果用の欄に表示された検索結果の少なくとも一部を読み出す読み出しステップと、読み出しステップにおいて読み出した検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に書き込む書き込みステップとを有する。

【0045】この構成によれば、検索ステップにより得られた検索結果の少なくとも一部、つまりユーザに選択された部分は、読み出しステップと書き込みステップによって所定項目の入力欄に書き込まれるので、ユーザは

煩雑な操作とデータベースの検索結果を転記することができる。また、前記コンピュータは、前記検索サーバと前記申請受け付けサーバのそれぞれに、イントラネット及びインターネットの少なくとも一方を介して接続され、前記申請書類作成方法は、さらに、第1ウィンドウの内容をHTML言語で記述した第1HTML文書を前記申請受け付けサーバから受信する受信ステップを有し、前記第1表示ステップは、受信ステップにおいて受信された第1HTML文書に従って第1ウィンドウを前記ディスプレイに表示させ、前記第2表示ステップは、前記第1のユーザ操作がなされたとき、第2ウィンドウの表示内容をHTML言語で記述した第2HTML文書を前記検索サーバから受信する受信サブステップと、受信された第2HTML文書に従って第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる表示サブステップとからなるように構成してもよい。

【0046】この構成によれば、上記効果に加えて、第1ウィンドウはHTML言語により記述されているので、イントラネット及びインターネットの少なくとも一方に接続され、かつ、いわゆるブラウザソフトウェアを実行できるコンピュータであれば、機種を問わずに第1ウィンドウを表示でき、さらに申請書類データを作成することができる。

【0047】さらに、前記第2HTML文書は、第2ウィンドウに表示された検索結果のうちユーザ操作により選択された部分を特定しコンピュータのメモリに書き込む処理と、第1ウィンドウの前記所定項目の入力欄に、コンピュータのメモリから前記選択された部分を読み出して書き込む処理とを記述したスクリプトプログラムを含み、前記取得ステップ及び前記貼り付けステップは、第2のユーザ操作がなされたとき、コンピュータにスクリプトプログラムを実行させることにより、第2ウィンドウに表示された検索結果のうちユーザ操作により選択された部分を第1ウィンドウの前記所定項目の入力欄に貼り付けるように構成してもよい。

【0048】この構成によれば、上記効果に加えて、第2ウィンドウはHTML言語により記述されているので、イントラネット及びインターネットの少なくとも一方に接続され、かつ、いわゆるブラウザソフトウェアを実行できるコンピュータであれば、機種を問わずに第2ウィンドウを表示でき、さらに検索することができる。また、前記検索サーバは、交通機関の乗車地及び降車地を検索キーとして、その乗車地と降車地との間の運賃を検索するサーバであり、前記所定項目は交通機関の費用の項目であり、前記検索ステップは乗車地及び降車地からなる検索キーを検索サーバに送信するように構成してもよい。

【0049】この構成によれば、上記効果に加えて、出張旅費の申請書類データを作成するのに好適である。本発明の申請書類作成方法は、イントラネット及びインタ

ネットの少なくとも一方を介して検索サーバ及び申請受け付けサーバに接続されたコンピュータにおいて申請受け付けサーバに送信すべき申請書類データを作成する方法であって、コンピュータのメモリにロードされたブラウザソフトウェアを起動するステップと、コンピュータが起動されたブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により申請受け付けサーバのアドレスが指定されたとき、申請受け付けサーバにアクセスして第1HTML文書を申請受け付けサーバから受信しメモリに格納する第1受信ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第1HTML文書に従って、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により検索サーバのアドレスが指定されたとき、検索サーバにアクセスして第2HTML文書を検索サーバから受信しメモリに格納する第2受信ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第2HTML文書に従って、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索ステップと、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示ステップと、特定のユーザ操作がなされたとき、コンピュータに第1HTML文書に埋めこまれていたスクリプトプログラムを起動させるステップと、コンピュータがスクリプトプログラムを実行することにより、第2ウィンドウに表示された検索結果の少なくとも一部を取得して、取得した検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける転記ステップとを有するよう構成してもよい。

【0050】この構成によれば、転記ステップによって、検索結果の少なくとも一部、つまりユーザに選択された部分が所定項目の入力欄に転記されるので、ユーザは煩雑な操作とデータベースの検索結果を転記することができる。加えて、第1及び第2ウィンドウはHTML言語により記述されているので、上記コンピュータがイントラネット及びインターネットの少なくとも一方に接続されていて、いわゆるブラウザソフトウェアを有するコンピュータであれば、機種を問わずに第1及び第2ウィンドウを表示でき、検索結果の転記を利用して申請書類データを容易に作成することができる。

【0051】また、本発明の申請書類作成方法は、ネットワークを介して申請受け付けサーバに接続されたコンピュータにおいて申請受け付けサーバに送信すべき申請書類

データを作成する方法であって、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、第1のユーザ操作がなされたとき、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示ステップと、第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、メモリに記憶されている検索ソフトウェアをコンピュータが実行することにより、当該検索キーについての検索を行う検索ステップと、検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示ステップと、第2のユーザ操作に従って、表示された検索結果の少なくとも一部を取得する取得ステップと、取得ステップにおいて取得された検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける貼り付けステップとを有する。

【0052】この構成によれば、転記ステップによって、検索結果の少なくとも一部、つまりユーザに選択された部分が所定項目の入力欄に転記されるので、ユーザは煩雑な操作とデータベースの検索結果を転記することができる。加えて、第1及び第2ウィンドウはHTML言語により記述されているので、上記コンピュータがイントラネット及びインターネットの少なくとも一方に接続されていて、いわゆるブラウザソフトウェア及び検索ソフトを有するコンピュータであれば、機種を問わずに第1及び第2ウィンドウを表示でき、検索結果の転記を利用して申請書類データを容易に作成することができる。

【0053】本発明の申請書類作成装置は、ネットワークを介して検索サーバ及び申請受けサーバに接続され、申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成する申請書類作成装置であって、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをディスプレイに表示させる第1表示制御手段と、第1のユーザ操作がなされたとき、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示制御手段と、第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索手段と、受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示手段と、第2のユーザ操作に従って、表示された検索結果の少なくとも一部を取得する取得手段と、取得手段において取得された検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける貼り付け手段とを備える。

【0054】この構成によれば、取得手段及び貼り付け手段によって、検索結果の少なくとも一部つまりユーザに選択された部分が所定項目の入力欄に転記されるので、ユーザは煩雑な操作とデータベースの検索結果を転記することができる。また、本発明の申請書類作成装置は、イントラネット及びインターネットの少なくとも一

方を介して検索サーバ及び申請受けサーバに接続され、申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成するコンピュータであって、ブラウザソフトウェアを格納するメモリと、コンピュータのメモリに格納されたブラウザソフトウェアを起動する手段と、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により申請受けサーバのアドレスが指定されたとき、申請受けサーバにアクセスして第1HTML文書を申請受けサーバから受信しメモリに格納する第1受信手段と、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第1HTML文書に従って、申請者、申請内容及び所定項目の入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示制御手段と、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、ユーザ操作により検索サーバのアドレスが指定されたとき、検索サーバにアクセスして第2HTML文書を検索サーバから受信しメモリに格納する第2受信手段と、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、メモリに格納された第2HTML文書に従って、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示制御手段と、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索手段と、コンピュータがブラウザソフトウェアを実行することにより、受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示制御手段と、特定のユーザ操作がなされたとき、コンピュータが第1HTML文書に埋めこまれていたスクリプトプログラムを実行することにより、第2ウィンドウに表示された検索結果の少なくとも一部を取得して、取得した検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける転記手段とを有する。

【0055】この構成によれば、転記手段によって、検索結果の少なくとも一部、つまりユーザに選択された部分が所定項目の入力欄に転記されるので、ユーザは煩雑な操作とデータベースの検索結果を転記することができる。加えて、第1及び第2ウィンドウはHTML言語により記述されているので、上記コンピュータがイントラネット及びインターネットの少なくとも一方に接続されていて、いわゆるブラウザソフトウェア及び検索ソフトを有するコンピュータであれば、機種を問わずに申請書類作成装置として、第1及び第2ウィンドウを表示でき、検索結果の転記を利用して申請書類データを容易に作成することができる。

【0056】本発明のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、ネットワークを介して検索サーバ及び申請受けサーバに接続されたコンピュータに、申請受けサーバに送信すべき申請書類データを作成させるプログラム

を記憶するコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を示す第1ウィンドウをコンピュータのディスプレイに表示させる第1表示ステップと、第1のユーザ操作がなされたとき、検索キーの入力するための第2ウィンドウを前記ディスプレイに表示させる第2表示ステップと、第2ウィンドウにおいて検索キーが入力されたとき、検索サーバに検索キーを送信し、検索サーバから検索結果を受信する検索ステップと、受信された検索結果を第2ウィンドウに表示させる第3表示ステップと、第2のユーザ操作に従って、表示された検索結果の少なくとも一部を取得する取得ステップと、取得ステップにおいて取得された検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける貼り付けステップとをコンピュータに実行させるプログラムを記憶する。

【0057】この記憶媒体を読み取ることによりコンピュータは、取得ステップ及び貼り付けステップによって、検索結果の少なくとも一部、つまりユーザに選択された部分が所定項目の入力欄に転記されるので、ユーザは煩雑な操作とデータベースの検索結果を転記することができる。加えて、第1及び第2ウィンドウはHTML言語により記述されているので、上記コンピュータがイントラネット及びインターネットの少なくとも一方に接続されていて、いわゆるブラウザソフトウェア及び検索ソフトを有するコンピュータであれば、機種を問わずに申請文書作成装置として、第1及び第2ウィンドウを表示でき、検索結果の転記を利用して申請書類データを容易に作成することができる。

【0058】本発明の申請文書作成コンピュータシステムは、第1のHTML文書を記憶し申請書類データを受け付ける申請受け付けサーバと、第2のHTML文書を記憶し検索キーに応じた検索結果を出力する検索サーバと、申請受け付けサーバサーバ及び検索サーバアクセスして第1及び第2のHTML文書を受信及び表示するためのブラウザソフトウェアを記憶するコンピュータとを備え、第2のHTML文書は、ブラウザソフトウェアを実行するコンピュータに、検索キーを入力するための欄と検索結果を表示するための欄とを含む第2ウィンドウを表示させる処理を記述したHTML言語プログラムを含み、第1のHTML文書は、ブラウザソフトウェアを記憶するコンピュータに、申請者、申請内容及び所定項目の各入力欄を含む申請書類の書式を含む第1ウィンドウを表示させる処理を記述したHTML言語プログラムと、特定のユーザ操作がなされたとき第2ウィンドウの検索結果表示欄に表示された検索結果の少なくとも一部を取得しその検索結果を第1ウィンドウにおける前記所定項目の入力欄に貼り付ける処理を記述したスクリプトプログラムを含むように構成されている。

【0059】この構成によれば、申請文書作成コンピュータシステムの構成要素たるコンピュータは、検索結果

の少なくとも一部、つまりユーザに選択された部分が検索結果表示欄に転記されるので、ユーザは煩雑な操作とデータベースの検索結果を転記することができる。加えて、第1及び第2ウィンドウはHTML言語により記述されているので、ブラウザソフトウェアを有するコンピュータであれば、機種を問わずに申請文書作成装置として、第1及び第2ウィンドウを表示でき、検索結果の転記を利用して申請書類データを容易に作成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態における出張旅費申請システムの構成を示すブロック図である。

【図2】運賃検索サーバ102の構成を示すブロック図である。

【図3】旅費申請サーバ108の構成を示すブロック図である。

【図4】申請者用クライアント100の詳細な構成を示すブロック図である。

【図5】申請者用クライアント100における申請書類作成処理を示すフローチャートである。

【図6】申請者用クライアント100における申請書類作成処理の続きを示すフローチャートである。

【図7】図6のステップ109に示した転記処理の詳細フローチャートである。

【図8】メモリ中の所定領域に格納される経路情報の説明図である。

【図9】出張旅費申請用の書類データ作成ウィンドウの一例である。

【図10】行先、目的、出発地、帰着日、利用年月日の各欄への入力が行なわれたときの申請書類データ作成ウィンドウ30の表示例を示す図である。

【図11】申請書類データ作成ウィンドウ30とともに独立のウィンドウとして表示される賃検索ウィンドウ31を示す図である。

【図12】乗車地入力欄304に「大阪」、降車地入力欄305に「京都」が入力された場合の運賃検索ウィンドウ31の表示例である。

【図13】検索結果が表示された運賃検索ウィンドウ31の表示例である。

【図14】転記後の申請書類データ作成ウィンドウ30及び運賃検索ウィンドウ31の表示例である。

【図15】図15は、第2実施形態における申請者用クライアント200の詳細な構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

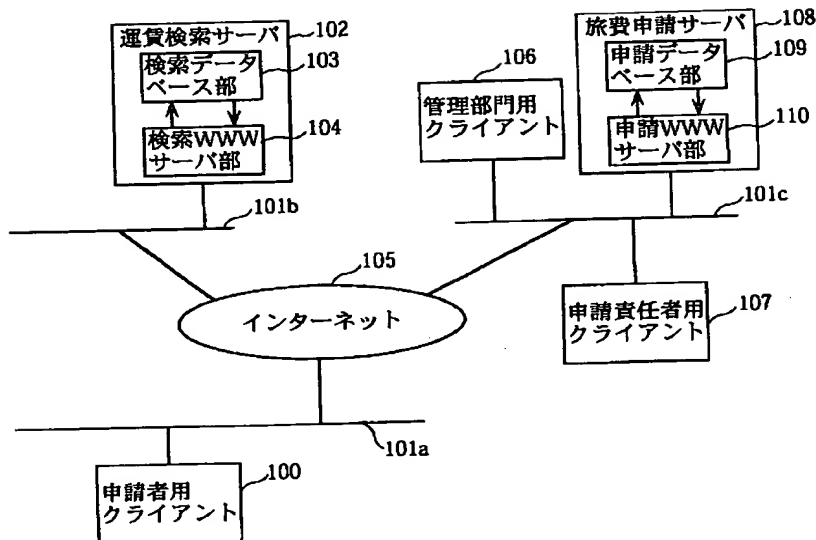
- 30 申請書類データ作成ウィンドウ
- 31 運賃検索ウィンドウ
- 100 申請者用クライアント
- 102 運賃検索サーバ
- 102a ハードディスク

103 検索DB部
 104 検索WWWサーバ部
 105 インターネット
 106 管理部門用クライアント
 107 申請責任者用クライアント
 108 旅費申請サーバ
 108a ハードディスク
 109 検索DB部
 110 申請WWWサーバ部
 200 申請者用クライアント
 300 出張実績データ入力部
 301 旅費申請データ入力部
 302 運賃検索ボタン
 302 運賃検索起動ボタン
 303 送信ボタン

304 乗車地入力欄
 305 降車地入力欄
 306 検索ボタン
 308a 選択ボタン
 309 転記ボタン
 1001 ネットワークI/F
 1002 CPU
 1003 HDD
 1004 表示制御部
 1004a VRAM
 1005 表示装置
 1006 メモリ
 1007 操作制御部
 1008 キーボード
 1009 マウス

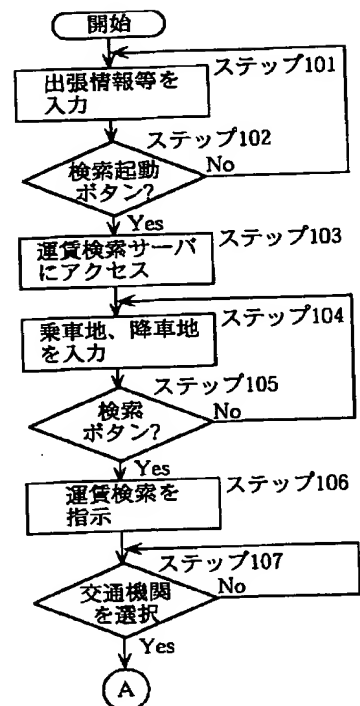
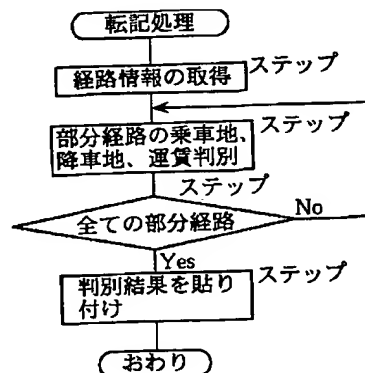
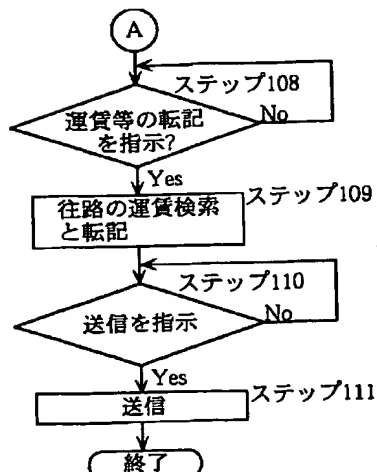
【図1】

【図5】

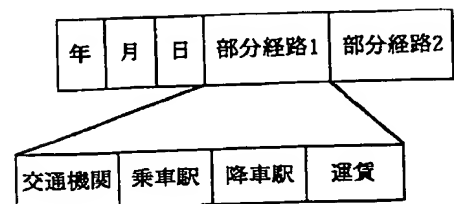


【図6】

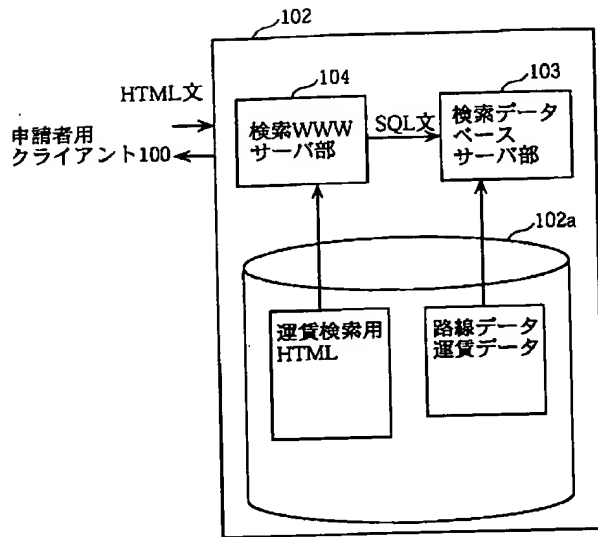
【図7】



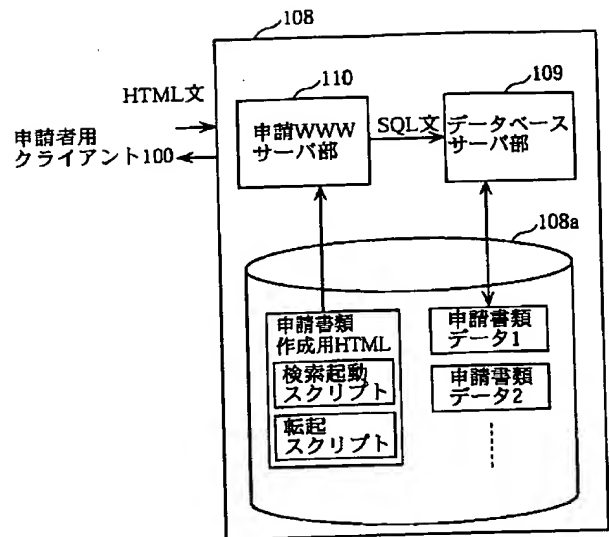
【図8】



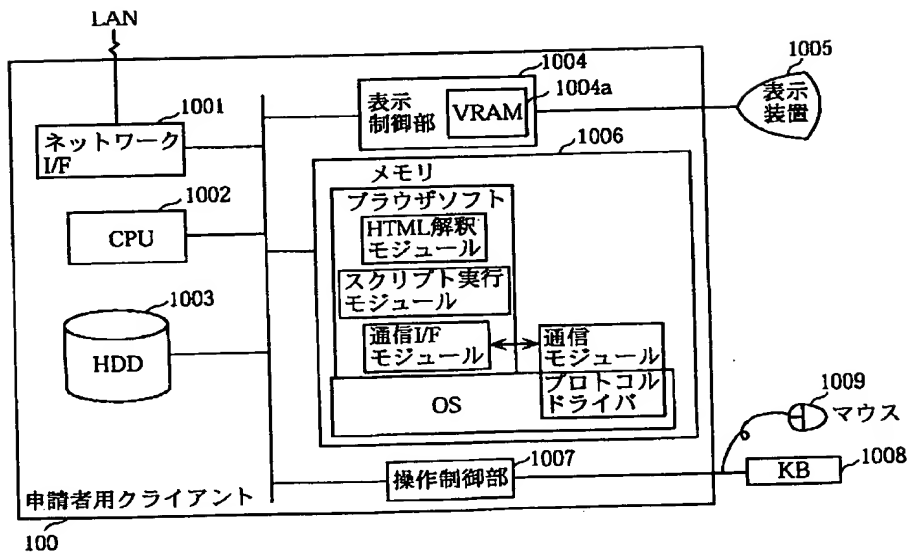
【図2】



【図3】



【図4】



【図9】

出張実績

行先:

目的:

出発日: 帰着日:

旅費申請

利用年月日	交通機関	乗車地	降車地	運賃
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

運賃検索起動 送信

【図10】

出張実績

行先:

目的:

出発日: 帰着日:

旅費申請

利用年月日	交通機関	乗車地	降車地	運賃
1998.9.1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

運賃検索起動 送信

【図12】

出張実績

行先:

目的:

出発日: 帰着日:

旅費申請

利用年月日	交通機関	乗車地	降車地	運賃
1998.9.1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

送信

乗車地 降車地

検索

【図13】

出張実績

行先: 京都

目的: 販売促進打ち合わせ

出発日: 1998.9.1 帰着日: 1998.9.1

旅費申請

利用年月日	交通機関	乗車地	降車地	運賃
1998.9.1				

転記 送信

乗車地 大阪 降車地 京都

308a ● 大阪～京都 JR西日本 540円

308b ○ 大阪～京都 阪急(梅田～四条烏丸) 390円 590円
市営地下鉄(烏丸～京都) 200円

【図14】

出張実績

行先: 京都

目的: 販売促進打ち合わせ

出発日: 1998.9.1 帰着日: 1998.9.1

旅費申請

利用年月日	交通機関	乗車地	降車地	運賃
1998.9.1	JR西日本	大阪	京都	540

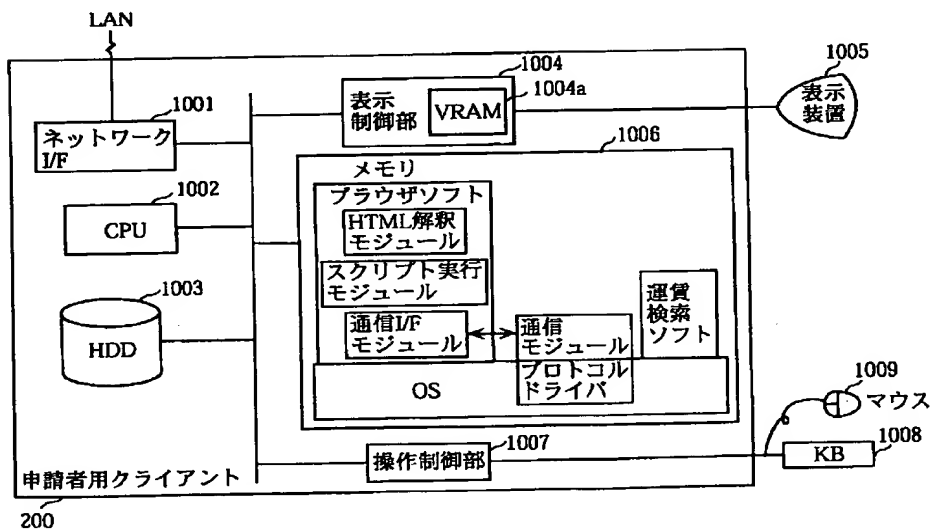
転記 送信

乗車地 大阪 降車地 京都

308a ● 大阪～京都 JR西日本(大阪～京都) 540円

308b ○ 大阪～京都 阪急(梅田～四条烏丸) 390円 590円
市営地下鉄(烏丸～京都) 200円

【図15】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

G 0 6 F 17/30

H 0 4 L 12/54

12/58

識別記号

F I

G 0 6 F 15/40

テーマコード(参考)

3 1 0 C

3 1 0 F

3 7 0 Z

H O 4 L 11/20

1 0 1 B

(72)発明者 饗庭 正樹
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

F ターム(参考) 5B049 CC11 DD01 DD05 EE05 FF03
FF04 FF09 GG04 GG07
5B075 KK03 KK07 KK13 KK33 KK37
MM11 ND03 ND20 ND36 PP02
PP03 PP12 PP13 PP30 PQ02
PQ63 QT06 UU05
5B089 GA21 GB03 GB04 GB09 HA10
JA01 JB02 JB08 KA01 KC53
LB14
5E501 AA13 AB30 AC19 AC34 BA02
BA05 CA02 CB09 DA02 EA16
EB12 EB14 FA06
5K030 GA17 KA01 KA02 LD09 LD17